

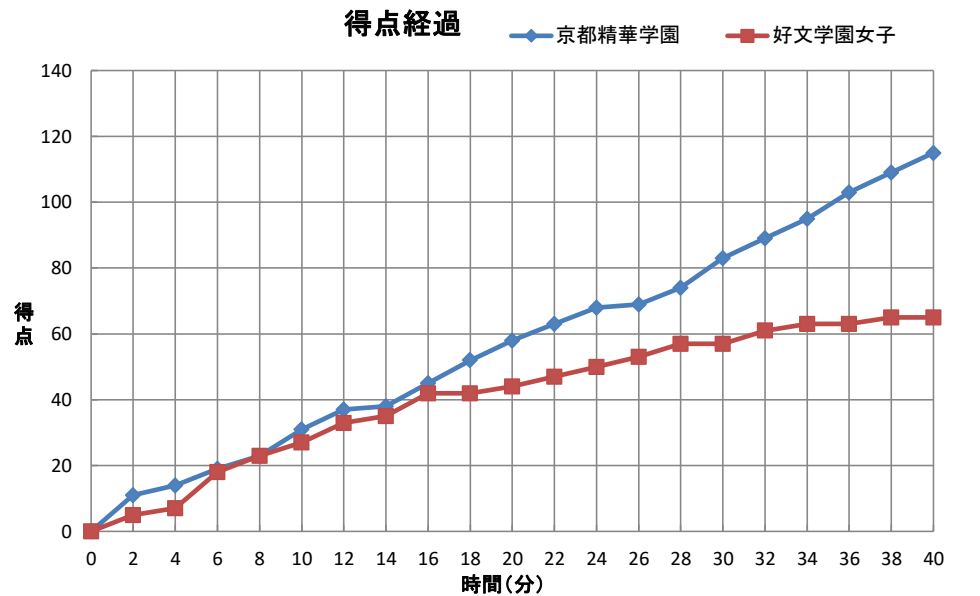


# 第71回近畿高等学校バスケットボール大会

## 個人トータル表

女子		令和6年6月22日		15:20 開始													
準々決勝		和歌山ビックホエール		A													
◎ 京都精華学園 115 (京都)		<table border="1"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>27</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>32</td><td>4th</td><td>8</td></tr> </table>		31	1st	27	27	2nd	17	25	3rd	13	32	4th	8	65 好文学園女子 (大阪)	
31	1st	27															
27	2nd	17															
25	3rd	13															
32	4th	8															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	林 咲良	13	2	3	1	1	* 4	赤堀 陽葵	13	3	2	0	3				
* 5	橋本 芽依	3	0	1	1	4	* 5	廣島 くらら	11	2	2	1	4				
* 6	桃井 優	10	2	1	2	3	6	河野 来実	0	0	0	0	3				
7	大久保 舞奈美	0	0	0	0	0	* 7	岩本 のどか	16	4	2	0	4				
8	山口 優利亜	0	0	0	0	0	* 8	前川 香奈	2	0	1	0	4				
9	金丸 千蓮	-	-	-	-	-	9	中島 玲亜	0	0	0	0	0				
10	吉田 ひかり	0	0	0	0	0	* 10	浅川 鈴菜	21	4	3	3	5				
11	石井 日菜	0	0	0	0	1	11	内田 亜弥音	2	0	1	0	1				
12	谷 彩南	7	1	1	2	1	14	田中 舞佳	-	-	-	-	-				
13	満生 小珀	2	0	1	0	0	15	高津 菜尋	-	-	-	-	-				
14	金谷 悠加	2	0	1	0	0	16	柿澤 優衣	0	0	0	0	0				
15	ンガルラ リヤ	13	0	6	1	1	17	藤村 理音	0	0	0	0	0				
* 16	石渡 セリーナ	21	0	10	1	0	18	田中 心実	-	-	-	-	-				
17	坂口 美果	-	-	-	-	-	19	石川 桜来	-	-	-	-	-				
* 18	ユサフ ボランレ	44	0	19	6	1	20	井川 陽悠	-	-	-	-	-				
コーチ	山本 綱義						コーチ	阿部 学									
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	赤堀 菜花									
合計		115	5	43	14	12	合計		65	13	11	4	24				
クルーチーフ: 那須 弘幸																	
アンパイア: 田中 真規      杉山 栄規																	

### 得点経過



TO	1・2Q		3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	8:54	17:23	28:31	35:33	:	:	:	:

〔戦評〕

〔第1Q〕  
両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々京都精華#6桃井が3Pシュートで先制する。その後は#18ユサフがリング下で確実に得点を重ねていく。一方好文は#10浅川#7岩本が落ち着いて3Pシュートを沈め、京都精華の独走を許さない。31対27と京都精華4点リードで第1Q終了。

〔第2Q〕  
京都精華は#18ユサフ#16石渡のインサイドプレーを中心に攻撃を組み立て、相手のファールを誘う。好文は#4赤堀を起点としたプレーでコツコツと得点し、京都精華に肉薄する。残り2分37秒、7点差となったところで好文がタイムアウト。しかし、タイムアウト明けに京都精華#12谷に3Pシュートを決められ10点差とされ、流れは京都精華へ。58対44で第2Q終了。

〔第3Q〕  
好文は警戒される中厳しいシチュエーションでも#10浅川#5廣島が3Pシュートを沈めるなど、粘り強く喰らいつくが、京都精華#18ユサフ#16石渡のハイロープレーやファールトラブルによるフリースローなどで点差が開く。最後はセットプレーから京都精華#6桃井が3Pシュートを沈め、83対57で第3Q終了。

〔第4Q〕  
その後も流れは変わらず。京都精華はメンバーを入れ替えながらも攻撃の手を緩めず、さらに点差を広げ、115対65で、粘る好文を突き放して準決勝に駒を進めた。

戦評: 藪添 順子      記録: 和歌山北